

津市立白山中学校 第1学年 社会科

1. 教科の目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2. 使用教材

地理的分野教科書(帝国書院) 中学校社会科地図(帝国書院) よくわかる社会の学習 地理1(明治図書) 3観点評価チェック15分(明治図書)

歴史的分野教科書(帝国書院) よくわかる社会の学習 歴史1(明治図書) 3観点評価チェック15分(明治図書)

【3観点】

- ①知識・技能
- ②思考・判断・表現
- ③主体的に学習に取り組む態度

3. 学習の進め方

学習内容と評価のポイント(1年生)

学期	単元名・学習内容	学期別学習到達目標	観点と評価方法
1	(地理) 第1部世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿 第2章 日本の姿 第2部世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境 第2章 世界の諸地域 ①アジア州 ②ヨーロッパ州	・世界の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動ができるようになる。 ・各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解する。 ・各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	●定期テスト【①②③】 ●単元テスト【①②③】 ●授業ノート プリント ふりかえり【②③】 上記は1・2・3学期共通 ①緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。 ①我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。 ①各州に暮らす人々の生活を基に各州の地域的特色を大観し、理解している。 ②世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ②日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ②各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できる。 ③世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ③日本の地域構成についてよりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ③世界の諸地域についてよりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2	(地理) 第2章 世界の諸地域 ③アフリカ州 ④北アメリカ州 ⑤南アメリカ州 ⑥オセアニア州 (歴史) 第1章 歴史のとらえ方と調べ方 第2章 古代国家の成立と東アジア ①人類の登場から文明の発生へ ②東アジアの中の倭(日本) ③中国にならった国家づくり ④展開する天皇・貴族の政治	・各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解する。 ・各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。 ・時代や年代の読み取り方を理解し、歴史を学習する際の基礎を身に付ける。 ・世界の古代文明や宗教が生まれたこと、日本列島において人々の生活が始まり、やがて国家が形成されていった過程のあらましを、東アジアの動きと関連付けて理解する。 ・天皇、貴族の政治を展開した古代までの日本の流れを大きく捉えることができる。 ・国際的な要素を持った文化からやがて文化の国風化が進んでいくことを理解するとともに、日本の文化財に関心を持つ。	①各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し、理解している。 ①年代の表し方や、時代区分の意味や意義について理解している。 ①古代における国家の形成、天皇や貴族の政治の展開のあらましや文化などに関する資料や情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめている。 ②各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できる。 ②古代までの日本の大きな流れについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の諸地域についてよりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ③世界の古代文明や宗教のおこりへの関心を高め、古代までの日本の大きな流れに関する課題を意欲的に追究している。
3	(歴史) 第3章 武家政権の成長と東アジア ①武士の世の始まり ②武家政権の内外 ③人々の結びつきが強まる社会	・武士の支配が全国に広まり、武家社会が発展していったという時代の流れを理解する。 ・東アジア世界との交流が国内の政治や社会、文化に影響を及ぼしたことを理解する。 ・都市や農村に自治的な仕組みが生まれたというこの時代の変化の原因を、諸産業の発達などの視点から考える。 ・新しい文化の特色を、代表的な事例を取り上げて捉えさせ、その中で現在に結びつくものに関心を持つ。	①中世の政治の展開、経済の発達と社会の変化、文化の広がりに関する資料や情報を適切に選択して、読み取ったり、図表にまとめている。 ②武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、文化の特色などを、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界との交流に関する課題を意欲的に追究している。

津市立白山中学校 第2学年 社会科

1. 教科の目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2. 使用教材

地理的分野教科書(帝国書院) 中学校社会科地図(帝国書院) よくわかる社会の学習 地理2(明治図書) 3観点評価チェック15分(明治図書)

歴史的分野教科書(東京書籍) よくわかる社会の学習 歴史2・3(明治図書) 3観点評価チェック15分(明治図書)

【3観点】

- ①知識・技能
- ②思考・判断・表現
- ③主体的に学習に取り組む態度

3. 学習の進め方

学習内容と評価のポイント(2年生)

学期	単元名・学習内容	学期別学習到達目標	観点別評価方法
1	(地理) 第3部 日本のさまざまな地域 第1章 身近な地域の調査 第2章 日本の地域的特色 第3章 日本の諸地域 ①九州地方 ②中国・四国地方 ③近畿地方 ④中部地方	・「資源・エネルギーと産業」、「交通・通信」の分布や地域などに着目して、課題を追ったり、解決したりする活動ができるようになる。 ・日本諸地域について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 ・日本の諸地域において、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・日本の諸地域についてよりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究する。	●定期テスト【①②③】 ●単元テスト【①②③】 ●プリント ふりかえり【②③】 上記は1・2・3学期共通 ①日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 ②「資源・エネルギーと産業」、「交通・通信」について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 ②日本の諸地域において、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、そこで生ずる課題と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ③日本の諸地域についてよりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究している。
2	(地理) ⑤関東地方 ⑥東北地方 ⑦北海道地方 (歴史) 第4章 近世の日本 ②江戸幕府の成立と対外政策 ③産業の発達と幕府政治の動き 第5章 開国と近代日本の歩み ①欧米における近代化の進展	・日本諸地域について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 ・日本の諸地域において、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・日本の諸地域についてよりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究する。 ・江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。 ・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解する。 ・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解する。 ・欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きを理解する。	①幕府の政策や、農村の様子などを基にして、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。 ①欧米諸国が近代社会を成立させて、アジアへ進出したことを理解する。 ①日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 ②近世の社会の様子と、近世の日本と世界を大観して、時代的特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 ②日本の諸地域において、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、そこで生ずる課題と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ③近世の日本と世界についてよりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ③日本の諸地域についてよりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究している。
3	第5章 開国と近代日本の歩み ②欧米の進出と日本の開国 ③明治維新 ④日清・日露戦争と近代産業	・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ・議会政治の始まりと国際社会との関わりを理解する。 ・日清・日露戦争、条約改正などを基に、我が国の国際的な地位が向上したことを理解する。 ・我が国の産業革命、国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解する。	①開国とその影響などを基に、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ①明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ①立憲制国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解する。 ①日清・日露戦争について、大陸との関係、戦争に至るまでの動き、国内外の反応、韓国の植民地化などを理解する。 ①近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解する。 ②近代の社会の様子と、近代の日本と世界を大観して、時代的特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 ③近代の日本と世界についてよりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

津市立白山中学校 第3学年 社会科

1. 教科の目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2. 使用教材

歴史的分野教科書(東京書籍) 単元確認プリント(明治図書)

公民的分野教科書(帝国書院) 公民資料集(新学社) 単元確認プリント(明治図書)

【3観点】

- ①知識・技能
- ②思考・判断・表現
- ③主体的に学習に取り組む態度

3. 学習の進め方

学習内容と評価のポイント(3年生)

学期	単元名・学習内容	学期別学習到達目標	観点別評価方法
1	(歴史) 第6章 二度の世界大戦と日本 ① 第一次世界大戦と日本 ② 大正デモクラシーの時代 ③ 世界恐慌と日本の中国侵略 ④ 第二次世界大戦と日本 第7章 現代の日本と私たち ① 戦後日本の出発 ② 冷戦と日本の発展 ③ 新たな時代の日本と世界 ① 平和と民主化への動き ② 国際化する世界と日本 (公民) 第1部 現代社会 第1章 現代社会と私たち ① 現代社会の特色 ② 私たちの生活と文化 ③ 現代社会をとらえる枠組み	・第一次世界大戦前後の国際情勢、第二次世界大戦と人類への惨禍について、社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・戦時下の国民生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解する。 ・第二次世界大戦後の日本の民主化と再建、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら理解する。 ・戦後の諸改革や国際社会の変化、経済成長や国民生活の変化を相互に関連付けながら、現代の日本や世界の特徴を考察し、表現する。 ・公民的分野への関心を高め、これ以降の公民学習につなげることができる。 ・情報化、グローバル化、少子高齢化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響、文化の継承と創造の意義などについて多面的・多角的に考察し、表現できる。 ・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みを働かせて、現代社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	●定期テスト【①②】 ●単元確認プリント【①②③】 ●授業レポート プリント【②③】 上記は1・2・3学期共通 ①表やグラフなどを用いて、客観的な統計から、当時の情勢を読み取る。 ①民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解する。 ①日本国憲法などを制定し民主化政策を進め、冷戦の中、国際社会の復帰を果たしたことなどを基に理解する。 ①民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解する。 ②各国の動きについて、公正に判断し、自分の意見を述べる。 ②戦前・戦後の日本の歩みについて、国内外の様子など様々な事象を関連付けながら、多面的・多角的に考察し、表現する。 ②社会生活におけるものごとの決定のしかた、きまりを通じた個人と社会の関係、きまりの役割について、事例の評価や合意案の作成と修正を通して、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みを働かせて、現代社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
2	第2部 政治 第1章 日本国憲法と私たち ① 民主主義と日本国憲法 ② 基本的人権の尊重 ③ 法の支配を支えるしくみ 第2章 政治と私たち ① 民主政治と私たち ② 国の政治の仕組み ③ 地方自治と私たち 第3部 経済 第1章 経済活動と私たち ① 経済のしくみと消費 ② 企業と生産 ③ 市場経済と金融のしくみ ④ 財政と私たち ⑤ 日本経済の課題とこれから	・法に基づく政治の大切さについて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 ・基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方を理解できる。 ・日本では日本国憲法が最高法規であり、日本国憲法に基づく政治によって、国民の自由と権利が守られていることを理解できる。 ・基本的人権を守る政治を実現するために、公正な世論の形成や選挙など、国民の政治参加と国民の意思を国政や地方の政治に十分反映させることが必要であることを理解できる。 ・国会を中心とする日本の民主政治のしくみのあらましや政党の役割、法に基づく公正な裁判の保障について理解できる。 ・私たちはどのように地方の政治に参加すべきかについて、多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。 ・身近な消費活動を中心に、経済活動の意義を理解できる。経済の基本的な考え方について理解できる。 ・企業の役割と責任について考えることができる。 ・市場経済ではモノやサービスの取り引きが貨幣を通して行われていることを理解できるとともに、近年ではデジタル通貨という新しい金融サービスを提供する動きがあることを理解できる。 ・社会資本の整備、公害の防止などの環境保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解するとともに、財政および租税の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。 ・日本経済がグローバル化の影響を強く受けていることを理解するとともに、デジタル化が進むなかで、これからの日本経済の発展のために必要なことを多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。	①個人の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解する。 ①民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解する。 ①日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権および平和主義を基本的原則としていることを理解する。 ①天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。 ②対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 ③現代社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ①国会を中心とする日本の民主政治のしくみのあらましや政党の役割を理解する。 ①議会議民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方について理解する。 ①国民の権利を守り社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解する。 ①地方自治の基本的な考え方について理解する。 ②民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など、国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ③民主政治と政治参加について、現代社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ①経済活動の意義について理解する。 ①現代の生産や金融などのしくみや働き、市場経済の基本的な考え方、勤労の権利と義務、労働組合の意義および労働基準法の精神について理解する。 ①社会資本の整備、公害の防止などの環境保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、財政および租税の意義、国民の納税の義務について理解する。 ②個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割および雇用と労働条件の改善について、表現する。 ②市場の働きに委ねることが難しい諸問題に対する国や地方公共団体が果たす役割、財政および租税の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③市場の働きと経済、国民の生活と政府の役割について、現代社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
3	第4部 国際 第1章 国際社会と私たち ① 国際社会の仕組み ② 地球的課題とその解決	・国際社会においては、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国の相互理解と協力および国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であり、持続可能な国際社会の実現のためにSDGsの達成が求められていることを理解できる。 ・紛争や核兵器の脅威、地球環境や資源・エネルギーの問題、格差や貧困の解消などの地球的課題に対して、その現状と背景を理解し、解決のために求められる国際協調のあり方について、SDGsとの関わりに着目して多面的・	①国際社会においては、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国の相互理解と協力および国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解し、領土(領海、領空を含む)や国家主権の意味、国際連合のしくみと役割、SDGsの意義などについて、資料から適切に読み取っている。 ②SDGsの達成に向けて、どのような立場(主体)がどのように国際協調をしていくべきなのか、対立と合意、持続可能性などの見方・考え方に着目して、多面的・多角的

	3年間のまとめと復習 (高校入試に向けて)	多角的に考察できる。	に考察し、表現している。 ③節全体を見通しながら、世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ①紛争や核兵器の脅威、地球環境や資源・エネルギーの問題、格差や貧困の解消などの地球的課題に対して、その現状と背景、解決に向けた現在の取り組みを、SDGsとの関わりに着目して理解している。 ②協調、持続可能性などの見方・考え方を働かせて、地球的課題の解決のために、自分自身、日本政府、国際社会のそれぞれができることについて、今と将来という異なる視点で考察、構想し、表現している。 ③節全体の見通しを立てながら、地球的課題の解決に向けて、身近な生活との関わりと持続可能な社会のための支援策に着目し、主体的に社会に関わり、みずからの行動に生かそうとしている。
--	----------------------------------	-------------------	--